

## 岡山市民の日記念事業「賢く使う在宅医療・介護のススメ」アンケート集計

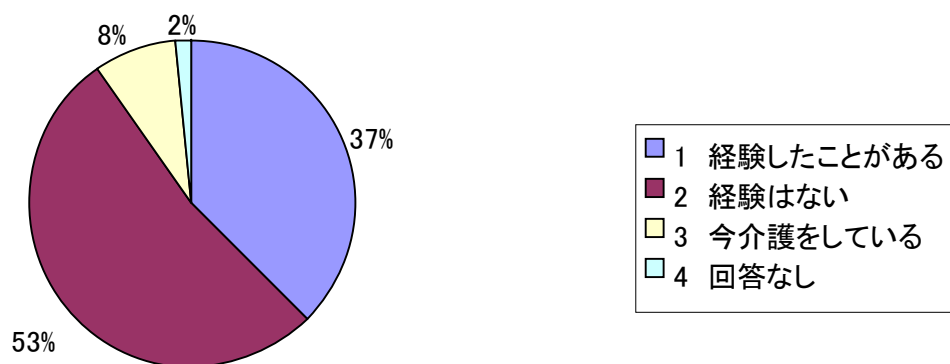
195 / 285

1. 在宅での医療や介護を経験されたことがありますか。

・経験したことがある    ・経験はない    ・今介護をしている    ・回答なし

73	103	16	3
----	-----	----	---

1. 在宅で医療や介護を経験されたことがありますか。

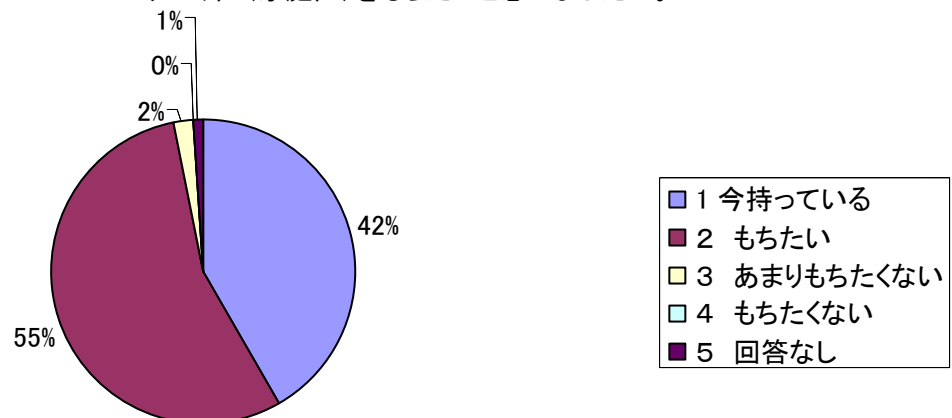


2. かかりつけ医（家庭医）をもちたいと思いましたが。

・今持っている    ・もちたい    ・あまりもちたくない    ・もちたくない    ・回答なし

81	108	4	0	2
----	-----	---	---	---

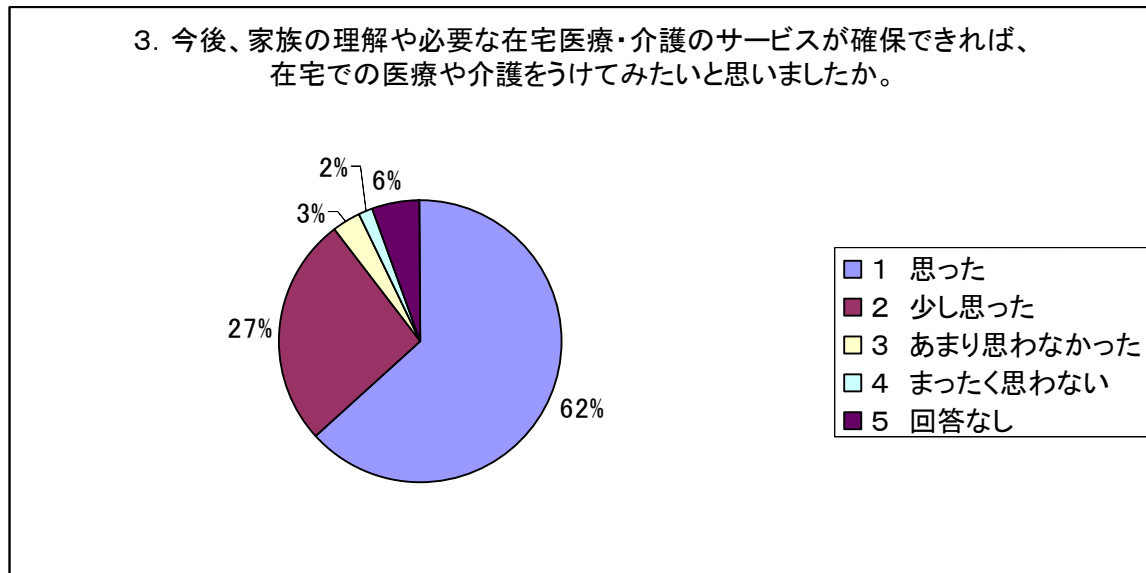
2. かかりつけ医（家庭医）をもちたいと思いましたが。



3. 今後、家族の理解や必要な在宅医療・介護のサービスが確保できれば、在宅での医療や介護をうけてみたいと思われましたか。

・思った                      ・少し思った                      ・あまり思わなかった                      ・まったく思わない                      ・回答なし

1	2	3	5	2	6	3	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---



4. 年代と性別を教えてください。

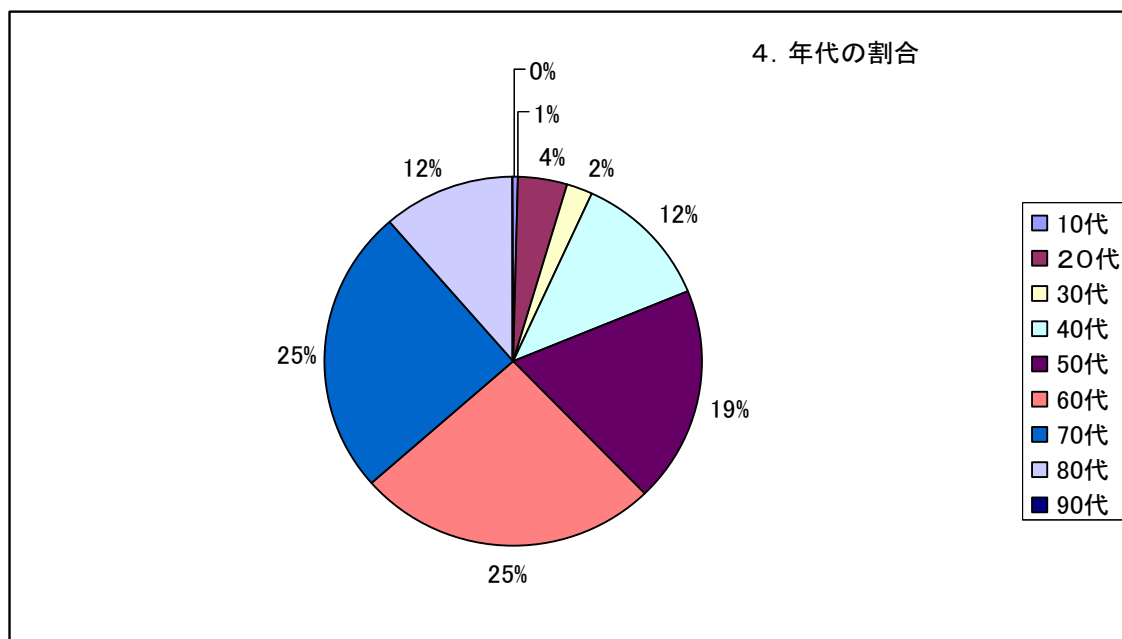
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
1	8	4	23	36	49	48	22	0

・男性

・女性

・不明

48	140	7
----	-----	---



5. その他ご意見や印象に残ったこと等がございましたら、ご記入ください。

- ・ 松下先生、佐藤先生のような方が増え信頼のおける かかりつけ医、訪問介護士さんが増えることを待ち望んでいます。今日のような講演に恵まれてありがとうございました。(70代女性)
- ・ プライマリ・ケアという言葉を知り、医療も変化していると感じた。患者の意思に添った方法を願います。私は終末の過ごし方を文面にしたためています。(60代女性)
- ・ 自分らしく強い意志があり、それぞれの手助けがあれば、在宅での看取りが可能なのですね。残り少ない人生、深い関心をもって私らしく生きたいと思いました。主人も在宅で看取りができればそれ以上のことはないと思います。(70代女性)
- ・ いざと云う時、在宅介護に頼りたいと思います。(70代女性)
- ・ 介護、医療が本当にすすんでいるので、どの選択でも自分の意思でできるのだと思いました。現在、母を介護しているのですが、不安がなくなりました。(50代女性)
- ・ 介護、医療は特別なことではなく、当たり前の日常の中で起こりえることとして、受け止められるといいなと思います。(40代女性)
- ・ 住民が地域医療をつくる、家庭医を育てるといった意識付け大切。Drにたかる地域にはDrは根付かない。大都市岡山市での啓発は難しいですね。(50代男性)
- ・ ケースバイケース、人それぞれのプログラム、柔軟な対応がプライマリケアチームの連携のもと実現したいものです。(60代女性)
- ・ 私は在宅介護を支援する側にいます。モチベーションをあげることができ、ありがとうございました。(30代女性)
- ・ 病気になったら最後は病院でと思っていたのですが、きちんと支えてもらえる体制があれば、できれば自宅でと思えるようになっていきます。(60代女性)
- ・ 小規模多機能の利用が臨機応変でよいと思う。(50代女性)
- ・ 一人暮らしでがんばっても、高齢になると。認知による生活障害を発症したときには家族の負担増により、在宅の限界がはやく来る経験をしました。プライマリ・ケアの考え方、もっと導入すべきと考えさせられました。てんとう虫さんのお話を聴きながら、質の向上を願います。(60代女性)
- ・ 本人の意思が大事。(50代女性)
- ・ 在宅で看取りをしていただける医師、看護師が増えたらよいと思います。今はまだ少ないです。在宅のサービスがよくわかりました。今後もこういう研修を望みます。(50代女性)
- ・ 親身になって訪問介護をしてくださる方が一番重要だと感じました。(60代女性)
- ・ 初めて介護に携わって不安や疲れがたまっていく中、この講演会に参加できて本当に良かったと思いました。制度やサポートを上手に活用して、介護する側、される側、どちらもおだやかに過ごしていこうと思いました。ありがとうございました。(20代女性)
- ・ 新田さんの介護に感動しました。また介護は一人で悩まず、誰かに相談することも大切だなと思いました。(50代女性)
- ・ グループホームも在宅ですが、住まれている方がまずは「安心して住める居場所」になることが大切だなと思いました。そして最期まで輝いてもらえる援助がしたいと!!(50代女性)
- ・ 訪問診療してくださる医師が増えることが大切かな。訪問看護師の増員も。小規模多機能の所在が知りたいです。(70代男性)
- ・ 現在はまだ元気ですが、将来、最期はプライマリケアで死を受けたいと思います。これから良いかかりつけ医を見つきたいです。(60代女性)

- これから年をとっていく上で病気への不安は大きく、近くに医療機関がない場合は特に悩むと思いますが、この在宅医療や介護が充実すれば安心感も違うと思いました。私の父も一人暮らしで田舎にいたので、身近なところで充実されていれば本人も家族も自分らしく暮らしていけるんじゃないかと思いました。(40代女性)
- 老夫婦が片方の介護をできるときは良いけれど、一人になったとき・・・子どもの手助け？不安がありますが、巡回がある由。(60代女性)
- 祖父母は私の母が家で看取りました。この年になり、子どもも思春期、青年期になってきました。私の親をできることなら家族で家で看取りたいと思います。それが、世代間の命のリレーだと思いました。(40代女性)
- 私も自分の家で死にたい。(70代女性)
- 在宅医療の現実がわからなかった。それに取り組んでおられるお医者さんがいることに尊敬を感じた。(60代女性)
- 松下先生の幕の内弁当の話の中で「主食はコミュニケーション」という言葉が印象に残りました。自宅での看取り・・・それまでの家族関係、地域との関わりも大切だなあと感じました。看取りまでそいてくださる先生は存じ上げているのですが、おおむね高齢のような気がします。若いDrの育成を期待しています。(50代女性)
- 在宅医療についてPRを十分してほしい(例えばパンフレット、チラシの作成、市政だよりでの特集。高齢なのでインターネットは利用できない)(70代男性)
- 今まさに母の最期について悩んでいるところです。松下先生のような考えの先生と出会えたらと思います。新田さんのように母の思いに添ったことをしてあげれたらと思います。(20代女性)
- 興味深い内容でした。相談できる場所があることを覚えておきたいと思います。ありがとうございます。自分もチームの一員として最善を尽くしていく意識をもちたいと思いました。(30代女性)
- 貴重な今まで知らなかった情報を知らせていただいたことに心から感謝します。特に新田さんの体験は、自分が医療に任せて母の病の最期を迎えてしまったので、私自身が「すべて任せる」といわれる人になれるように努力します。(50代女性)
- 素晴らしい発表を聞かせていただきました。かかりつけ医の先生はおりますが、どれだけお願いできるか不安があります。地域内の各専門職のチームワークで関わってくださるようになって欲しいと思います。お医者さまの意識はどうか・・・？(60代女性)
- 自分は動ける間は(在宅医療を受けてみようとは)まったく思わない(80代男性)
- 看取りのビデオを見て私の亡き父を想い、胸が熱くなりました。今現在、母の介護をしています。ディ、訪問リハを利用しながら在宅の看取りができればと思っています。大変だとは思いますが、なんとかがんばりたいと思います。(50代女性)
- 現況の家族構成においては、家庭介護を受けたくてもサポートの家族の数が少なく、考えさせられる。(70代女性)
- とても有意義でした。多岐にわたったシンポジストの方々のお話、佐藤先生と松下先生のお人柄と患者様への愛に感激いたしました。参加でき本当に感謝いたします。(40代女性)
- 介護する人、される人の考え方、受け取り方、またその方法の選択が大切。(60代男性)
- 本人の希望があれば家族の最期は自宅での思いを強く感じました。(50代女性)
- 家族に適当な人がいなければむずかしいのでは。(80代女性)

- それぞれの立場の方からの具体的なお話があり、在宅医療や介護に対して明るい希望がわきました。とても参考になる講演、シンポジウムでした。ありがとうございました。(40代女性)
- 本人の強い意志が大切だと思った。認知症など本人の意思確認が難しいときは？(50代男性)
- 老老介護は身体だけでなく、金銭的にもきびしいです。(70代女性)
- 24時間いつでも対応してくださる皆さんがいらっしゃるということ、本当に心強いと感じました。もっとPRが伝わってゆけばと思いました。2035年にはかなりの高齢者が増えるということが印象に残りました。ありがとうございました。(20代男性)
- 今後の在宅医療の充実を楽しみに歳をとりたいと思います。(50代男性)
- 自分の両親、夫の両親、4人が近い将来、介護の時期に入ります。できれば在宅でと考えています。(40代女性)
- いずれ独居老人になるとと思いますが、今日の講演を聴き、幾分かは安心感もありつつ、在宅医療、介護の進歩を期待しつつ願うばかりです。(70代女性)
- 私は主人の祖母、両親を看取りました。最期は病院でお願いしましたが、今から20年も前のことでとても大変でした。今はよくなりましたね。私もいろいろなケアを利用させていただきたいと思いません。(70代女性)
- 1部2部ともとてもよかった。勉強になったので、地域に帰っても伝達していきたいと思います。(安全・安心ネットワーク 60代男性)
- 家族は介護についての知識を持っていることが望ましい。本日の講演内容のような協力者がいると力強い。(70代女性)
- 現在母が祖母の看護をしている。老老看護が今後増えると思うが、現実的に本当に大変で、その点の取り組みが必要になると思う。(50代女性)
- 自己の意思を継続することは大変難しいのでは・・・(60代男性)
- 24時間対応していただけるかかりつけ医の充実が必要。かかりつけ医の研修制度がすすみ、信頼できる医師が増えると、在宅での看取りもすすむと思った。訪問看護やさまざまな介護サービスもとても重要。充実すると良いと思う。(50代女性)
- 新しい医療や介護の話がわかりやすかったです。将来はすべて在宅で行うのが当たり前になっていきそうな気がしました。(60代女性)
- 訪問看護ステーションの情報を初めて知った。目下町内会の役員をしているが、こういう情報がまったく届かないのが不思議ではない。情報公開を活用し、自ら社会の利用を推進する積極的な態度が欲しい。多様な広報方法を考えるべきではないか？高齢化時代となり、社会も大変だが、高齢者自身も不安におもっている。在宅の方向は当然だと思うが、こういう機会をできる範囲で沢山設け、よりよくお互いが歩み寄り、若い世代の負担を減らしたい。(70代女性)
- 訪問看護について知らなかったが、本日在宅医療を知り得たことがよかったです。(60代男性)
- 何もかもが統制した集団生活での型にはめるシステムにのって生きることを由としてきた今までとはまったく違う個人の尊重で、自分らしく過ごせる老後はよいものだと思う。一生懸命働いて建てた家は自分の心の拠り所だと思う。(50代女性)

※以上抜粋です。103のご意見をいただきました。